

特集

早産と 助産師のケア

1950年代から低出生体重児の割合は年々増加傾向にあり、超低出生体重児や極低出生体重児の割合も増加しています。原因の1つとして高年妊娠が増えていることが挙げられますが、それ以外の原因を防ぐために助産師による予防的な介入はできないでしょうか。本特集では早産の原因を知り、助産師ができるケアとその実践をまとめています。関連記事として、「早産児と発達障害」および「低出生体重児の将来のリスク軽減」についての論考も紹介します。